

Smile Woman! インタビュー⑤!
この人の仕事のカタチ
どこか輝いて見える「仕事」をしているあの人にズームアップ。



Yoshiko Hayashi

安全に、健康的に サイクリング楽しんで

④ 自転車を取り巻く環境の変化

環境に優しく、経済的かつ健康的な自転車は数年前から人気を集めている。用途は通勤・通学から趣味、競技レースにと様々。岡山県内での防犯登録済み自転車は年間11万・12万台以上。その防犯登録業務や岡山県内の自転車小売店の取りまとめをしているのが「岡山県自転車軽自動車商協同組合」（岡山市北区東古松）。林良子さんは同組合に勤務する。

「組合での業務に携わるまでは自転車と無縁で、ゼロからの勉強でした」と話す。自転車の専門知識よりは防犯登録業務や小売店とのやり取りがメインとなるが、自転車利用者の安心・安全のために日々業務に励む。「自転車利用者が増える一方で、小売店経営者の高齢化が進み廃業が増えている。また、日常利用する自転車利用者が安価なものが主流になり、使い捨て感覚から放置自転車増加に繋がっています」と自転車を取り巻く環境の変化にも心を痛める。

⑤ 日本の四季やスピード感を味わう

林さんにとって自転車の魅力は、季節を感じられることやスピード感を味わえること。「サイクリングで日本ならではの四季を楽しんで欲しいです。季節の匂いがあるんですよ——自分にあつたペースや目的で踏み進めることができることも人気の秘密。さらに体に合った自転車を選んで、安全で快適

な自転車生活を送ることができる。「サイズの合わない自転車では危険な体験をしたため、自分にあった自転車



選びの重要性を実感している」と話す。岡山県内でもサイクリングチームが増え、自転車に関する正しい知識を身につけ積極的な活動を行っている方が多数いる。特に女性チームは競技重視ではなく、趣味や娯楽、健康維持の一環として自転車を楽しんでいる。

⑥ 夢は自転車持参の旅

「子育てが終わったら、自転車を持って電車や車の旅がしたいです——自転車の醍醐味を味わえる旅の数々がこれから重ねられていくのだろう。『良子の自転車日記』なるものが出来上がる日がくるかもしれない。体を動かすことが大好きな林さんの活動は、自転車だけにとどまらない。マさんバレーではプレーと同様、仲間とのふれあいも楽しみに活動している。元氣な女性が集い、笑いの渦の中心に林さんがいる——そんな光景が目に見え、

林 良子さん

岡山県自転車軽自動車商協同組合
岡山県自転車・原付防犯登録課